

多彩なHACCP研修

Q P F S

6、7月、殺菌工学も

食品品質プロフェッショナルズ(QPFS、広田鉄磨代表理事)は、品質管理や食品安全確保に関する多彩な教育プログラムを提供している。6、7月の主な講習会・セミナーは次の通り。

〈HACCP責任者養成研修〉3日間コース

このHACCP責任者研修を6月10、12日に東京・QPFS飯田橋オフィス、7月29、31日に大阪・千里山コミユニティーセンターで開催する。机上の理論ではない、実効性の高いHACCP計画の作成につながるハザード分析の考え方、形骸化しないHACCP計画の構築に必要なカリキュラムを提供する。受講費は各5万円。

〈殺菌工学〉恒例の熱殺菌工学講習は6月16日に基礎編①、同17日に基礎編②、同18日にバリデーション編①(レトルト・ホットパック)、同19日にバリデーション編②(アセプティックライン)をQPFS飯田橋オフィスで開催する。受講費は各1万6000円。

〈その他〉ユニークなコースとして、7月2日に大阪、同7日に東京で品質管理のための統計学講座を開催する。また、7月3日に大阪、同16日に東京で官能評価に関する講座

を開催(いずれも大阪会場は千里山コミユニティーセンター、東京会場はQPFS飯田橋オフィス)。受講費は各1万6000円。

また、7月6日にはQPFS飯田橋オフィスで食品安全文化に焦点を当てた講習会を開催する。食品安全文化はコーデックス委員会が2020年に公表した「食品衛生の一般原則」(HACCPガイドラインを含む文書)に経営者のコミットメントに関する項に盛り込

まれたほか、FSSC 22000の最新改訂版から追加要求事項として明記された。一方で、具体的な取組みや評価などの考え方は十分に議論されていない。同講習では食品安全の分野で豊富な国際経験を持つ広田代表理事が、食品安全文化の本質に迫る。受講費は1万6000円。各コースの詳細はウェブサイト(<https://qpf.society.com>)で公開中。本紙読者特典として申込時に「紹介コード」欄に「006」と記入した場合、1万6000円の場合、1万5000円、5万円のコースは4万5000円で受講可能。(立石亘)